

3類型	鉦工業品	通巻番号	3-23-168
地域資源名	織物製品	認定日	平成24年2月3日
地域	栃木県足利市	所管省庁	経済産業省

事業名：足利銘仙技法の復活と現代技術の融合による、広幅での足利銘仙の創出、販売、伝承

会社名：株式会社絹十綿

所在地：栃木県足利市朝倉町3-21-18

連絡先：TEL：0284-71-1251

FAX：0284-72-7759

事業概要(新たな活用の視点)

本事業は、足利銘仙の技法を復活させ、新しい幅広の足利銘仙の創出と販売、および技法を伝承していくものである。

具体的には、現在の服地に使用できるように広幅114cmの銘仙の開発を行い、①高級アパレルブランド向けにショール、ストール、マフラーなどの小物製品、②高級アパレルブランド向けの服飾生地、③カーテンやインテリア雑貨用の生地、を提供する。

このほか、足利銘仙の技術伝承と見学、銘仙他足利産の生地のショールームを目的とした工房を設置し、技術伝承へ繋げていく。



【銘仙の生地】

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

足利銘仙は、経糸の模様側が少しずつずれることで、同じものが二度と生まれにくい「色彩、風合い」への希少性の高い商品となる。生地染め、プリント染めのような均一柄を染色する方法では出されない技法である。

◆市場性

高級アパレルブランドなど、限量を取り扱うメーカーから、「珍しい素材であり、他社にない企画であるため使いたい」との要請がある。

◆販路

当社からの生地提案を行うのみならず、来シーズンのブランドテーマ・企画などをメーカー、デザイナーから把握した上で、ニーズにマッチした生地企画・試作を行い、発注量・価格等のすり合わせを行った上で製造・販売を行っていく。



【銘仙を服地として使用したサンプル】

地域資源における関係事業者との連携

なかりつつある足利銘仙の新たな生地製品の開発に繋がるとともに、足利市内の繊維関連事業者の新たな事業機会となり、繊維産業の活性化に寄与する事業である。

あわせて足利市内の空き店舗に工房を設置することで、足利銘仙の技術伝承や事業承継、ショールームとしてのユーザーの獲得・産地PRに活かせるものと考えている。